Care and Maintenance

UV INKJET PRINTER

UJF200-3042
UJF200-6042

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203974-10
Original instructions

目次

はじめに 3
安全にお使いいただくために 4
　シンボルマーク表示について 4

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意 6
2. メンテナンスの方法 7
　メンテナンス項目とタイミング 7
　インクのメンテナンス 8
　ヘッド周辺のメンテナンス 9
　布ワイパー周辺の清掃 10
　ミストフィルターの清掃 11
　キャップゴムの清掃 12
　インク排出路の洗浄 13
　テーブルの清掃 15
　外装の清掃 15
　長期間使用しない場合 15
　NCUの清掃 17
　DAS（自動補正機能）センサーの清掃 18
3. 消耗品の交換 20
　布ワイパーの交換 20
　ミストフィルターの交換 23
　廃インクタンクのメンテナンス 24
　キャップの交換 26
　脱臭機フィルターの交換 28

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター　UJF200-3042/6042をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UJF200-3042/6042（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

	内　容	
⚠警 告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注 記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警 告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注 意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注 記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

2. メンテナンスの方法

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」（P. 8）
1週間の作業が始まる前	ホワイトインクのメンテナンスをしてください。☞「ホワイトインクのメンテナンス」（P. 8）
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 12）
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「ヘッド周辺のメンテナンス」（P. 9）
	UV-LEDユニットの底面を清掃してください。☞「ヘッド周辺のメンテナンス」（P. 9）
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「廃インク確認メッセージ」（P. 24）
1か月に1度	ワイパー周辺を清掃してください。☞「布ワイパー周辺の清掃」（P. 10）
	NCUを清掃してください。
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出路の洗浄」（P. 13）
	テーブルを清掃してください。☞「テーブルの清掃」（P. 15）
	カバー（外装）を清掃してください。☞「外装の清掃」（P. 15）
	ミストフィルターを清掃してください。 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」（P. 11）
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しない場合」（P. 15）

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1 回程度。

ホワイトインク：1日に1 回程度。

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ホワイトインクのメンテナンス

ホワイトインクに含まれている成分が、他のインクに比べて沈降しやすい性質があります。インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。1週間に一回、本機をご使用になられる前に、以下の内容にしたがってメンテナンスをしてください。

1 ホワイトインクのインクボトルを振る。

- 「インクのメンテナンス」（P. 8）

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ホワイトメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

4 [ENTER]キーを押す。

- 自動で排出/充填/クリーニングを実行します。
- 経過時間が表示されます。

ヘッド周辺のメンテナンス

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダー下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、清掃棒などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	
UJ 清掃棒（SPC-0386）	手袋
保護メガネ	メンテナンス用洗浄液

清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

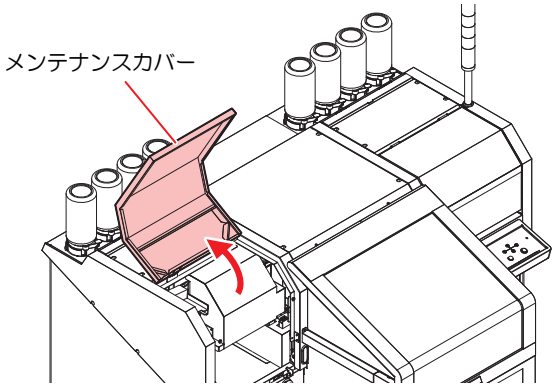
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

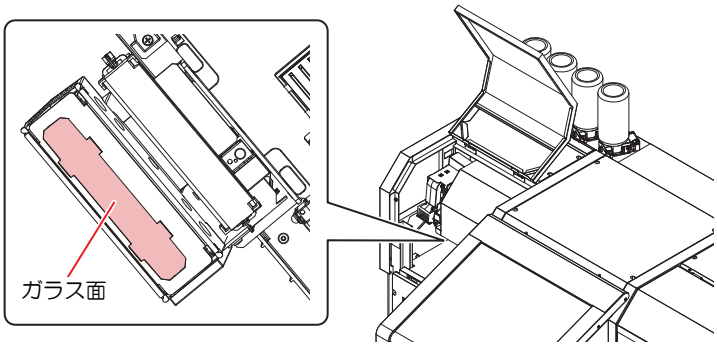
3 **メンテナンスカバーを開ける。**



4 **UV-LEDライトのガラス面を清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

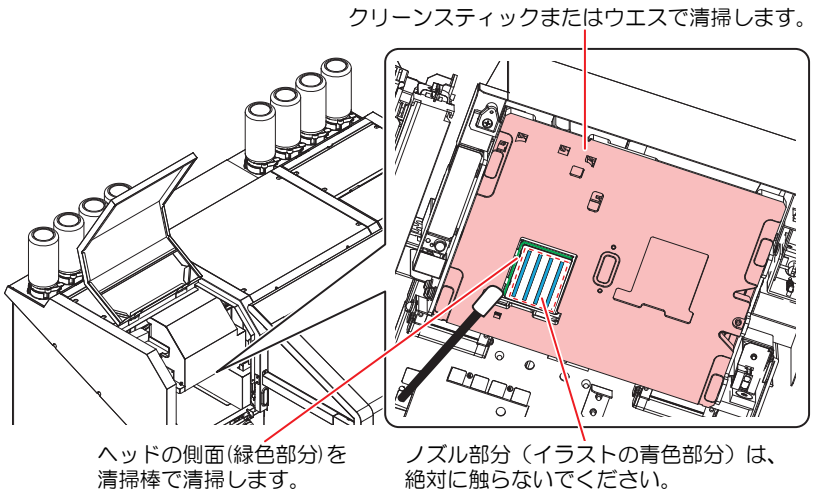
ガラスを強くこすりすぎないでください。破損する恐れがあります。



5 **ヘッドの側面などを清掃する。**

- ヘッドの側面などに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませた清掃棒で拭き取ります。

- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。



6 **清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。**

7 **メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。**

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

布ワイパー周辺の清掃

汚れたまま使い続けると、ワイパー周辺の固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

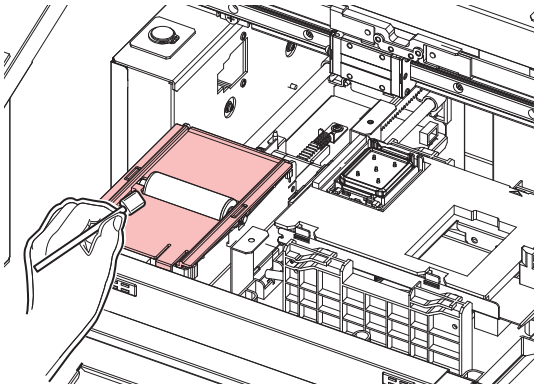
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーション左側]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **右側のメンテナンスカバーを開く。**

4 ワイパーユニットのふたを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



重要! • 布ワイパーにメンテナンス液が付着しないように注意してください。

ミストフィルターの清掃

1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

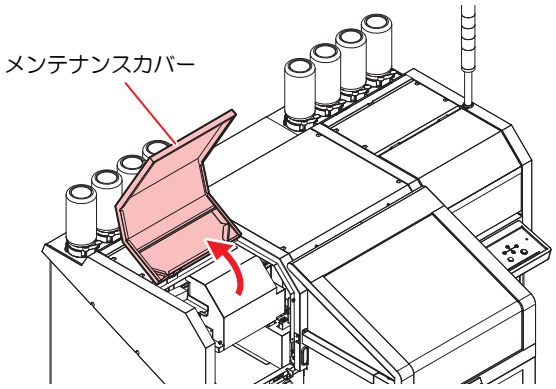
3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 [ENTER]キーを押す。

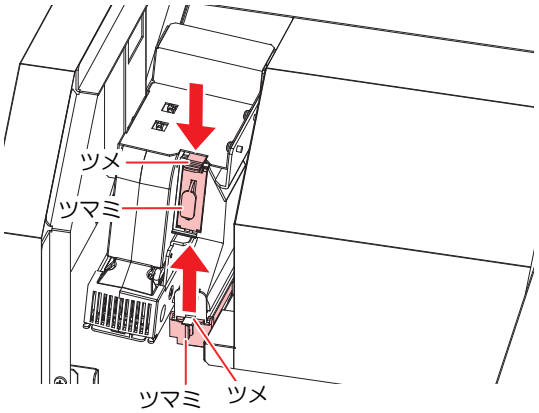
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。



6 ミストフィルターを取り出す。

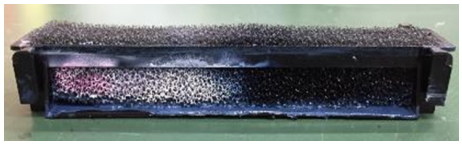
- ミストフィルターは 2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7 フィルターを清掃する。

- フィルターを取り出し、ペーパータオルなどで押さえて汚れを落とします。
- フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。

重要! フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルター (SPC-0819) を交換してください。☞「ミストフィルターの交換」（P. 23）



---

8 ミストフィルターを元の位置に戻す。

9 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

キャップゴムの清掃

1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

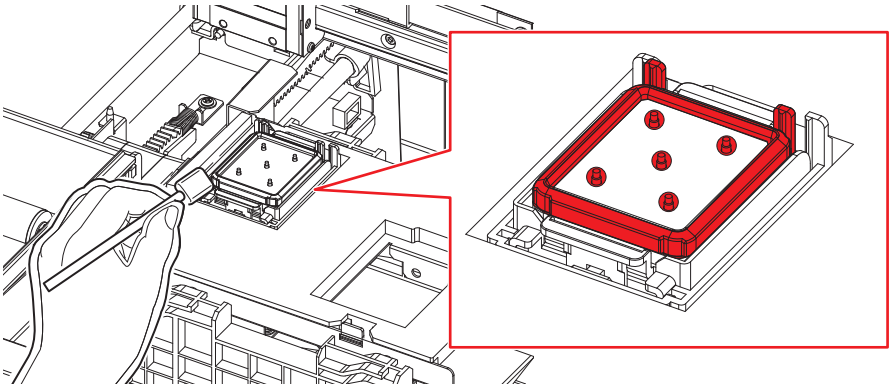
4 ▼を押して、[ENTER]キーを押す。

- “ノズル洗浄”が選択され、キャリッジが移動します。

5 メンテナンスカバーを開ける。

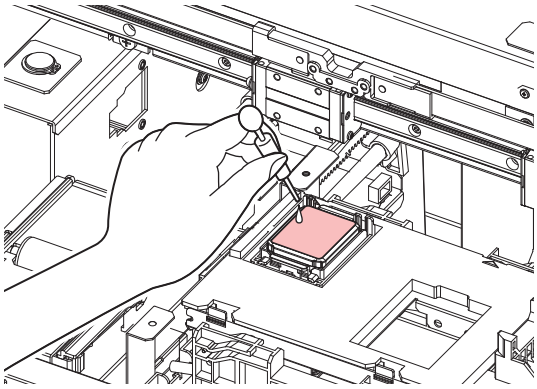
6 **キャップゴムを清掃し、[ENTER]キーを押す。**

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ）の部分を清掃します。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。



7 **メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。**

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 **メンテナンスカバーを閉め、[ENTER]キーを押す。**

9 **▲▼を押して洗浄液の放置時間を設定し、[ENTER]キーを押す。**

- 設定値 : 1 ～ 99 分（1 分単位）
- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください” が表示されます。

重要! ノズルリカバリー(ノズルリカバリー機能)やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に(1週間に1回程度)インク排出路の洗浄をしてください。

1 **ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。**

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

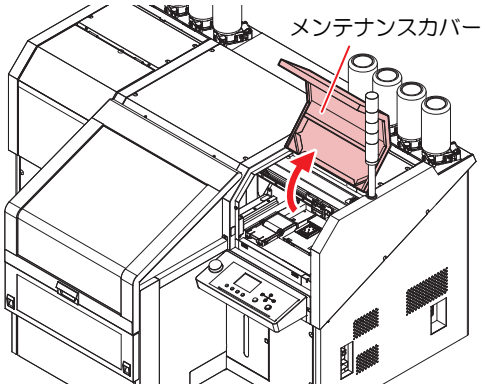
3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 ▼を2回押して、[ENTER]キーを押す。

- “排路洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返しおこないます。

5 右側のメンテナンスカバーを開ける。

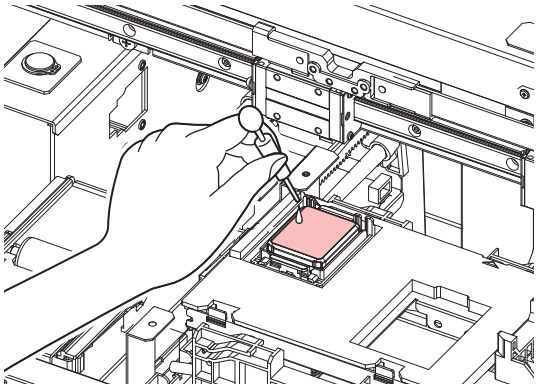


6 [ENTER]キーを押す。

- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

7 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

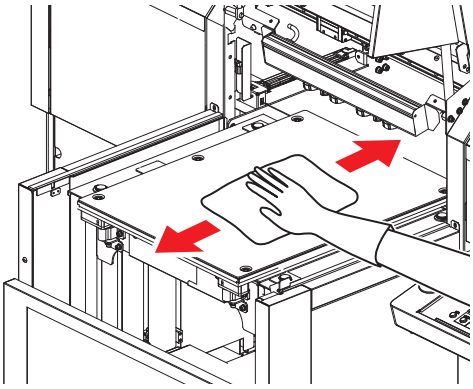
- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

テーブルの清掃

テーブルは、メディアをカットしたときの糸や紙粉などで汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、柔らかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。

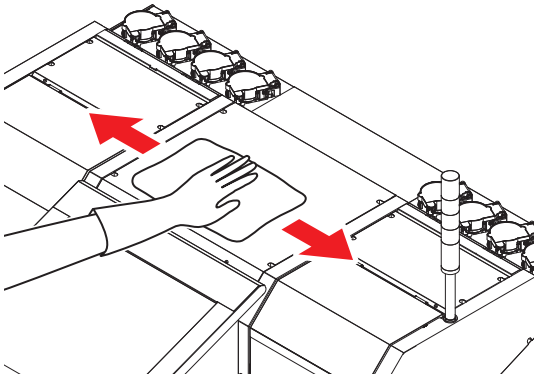


重要! テーブル周囲の溝や、治具固定用のネジ穴などは特に汚れがたまりやすいため、入念に清掃をしてください。

インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

外装の清掃

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。



長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

重要! 主電源は、常時オンでお使いください。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。

ワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて☞「廃インクタンクのメンテナンス」（P. 24）を参照して操作をしてください。

1 **ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。**

2 **▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- “ステーションメンテ”が選択されます。

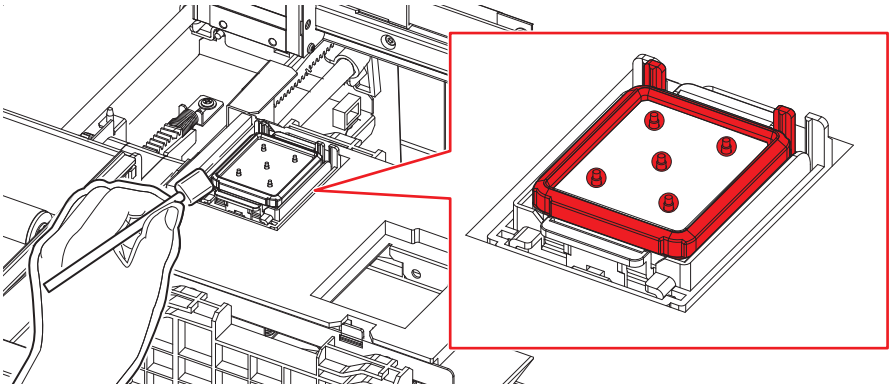
4 **▼を3回押して、[ENTER]キーを押す。**

- “保管洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。

重要！ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには“ 終了” が表示されます。手順5の作業が完了してから[ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

5 **キャップゴムを清掃する。**

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ）の部分を清掃します。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

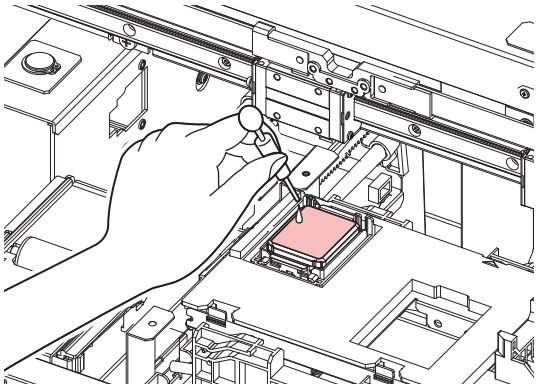


6 **[ENTER]キーを押す。**

重要！ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ)　:ENT]が表示されます。手順8の作業が完了しメンテナンスカバーを閉じてから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

7 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

9 ▲▼を押して洗浄液の放置時間を設定する。

- 設定値 :1～99分（1分単位）

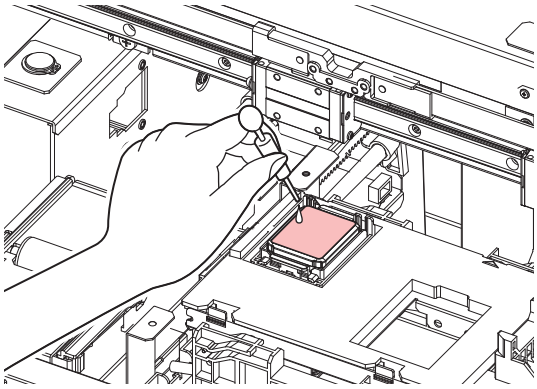
10 [ENTER]キーを押す。

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

11 メンテナンスカバーを開ける。

12 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



13 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、手順2の表示に戻ります。

NCUの清掃

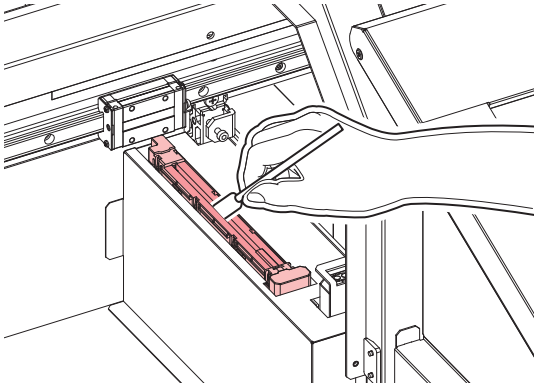
NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

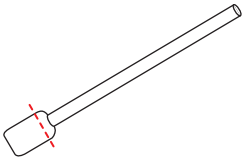
1 **左側のメンテナンスカバーを開く。**

2 **NCUを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（03_自動補正）が実行できないおそれがあります。

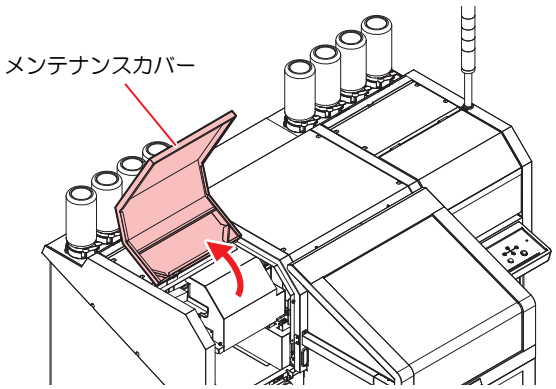
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

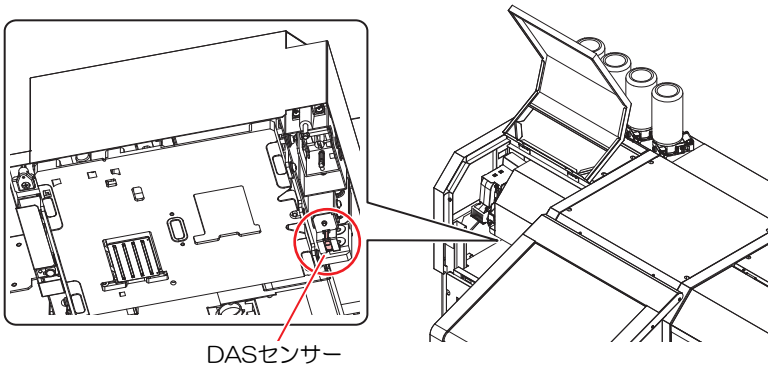
3 **メンテナンスカバーを開ける。**



4 **DASセンサーを清掃する。**

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

3. 消耗品の交換

布ワイパーの交換

布ワイパーがなくなりましたら、新しい布ワイパーに交換してください。

SPC-0919の布ワイパーについて
- 布ワイパーに注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- 布ワイパーを廃棄するときは、**必ず袋に入れて密閉してください**。産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。
- 布ワイパーを取り扱うときは、十分に換気して溶剤成分を吸い込まないように注意してください。

- **SPC-0919の布ワイパー**を取り扱うときは、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。布ワイパーにしみ込んでいる液体（溶剤）が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

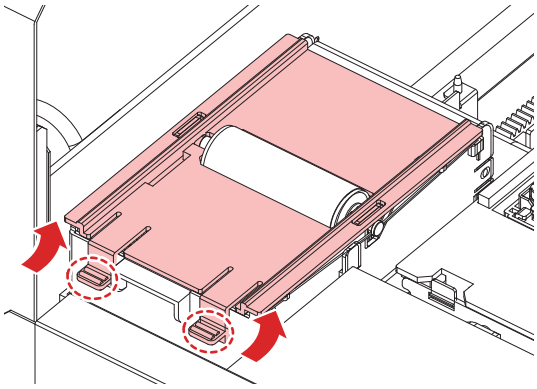
1 ディスプレイに"ワイパーエンド"が表示される。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- メンテナンスメニューが表示されます。

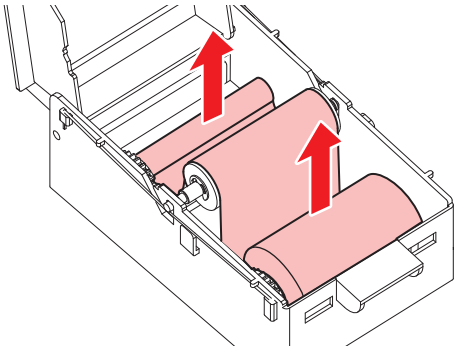
3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- キキャリッジがテーブル上に移動し、布ワイパーカセットが前方に移動します。

4 メンテナンスカバーRを開く。

5 布ワイパーのふたを開く。
- 手前のツメを押し上げて開きます。



6 軸ごと布ワイパーを外す。

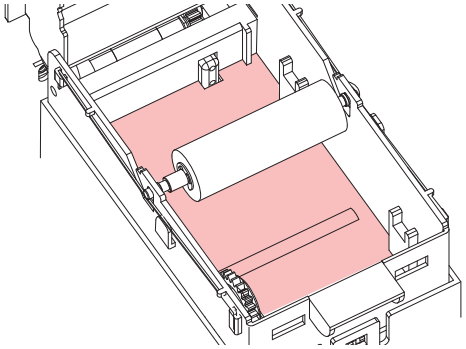


7 軸から布ワイパーを外す。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

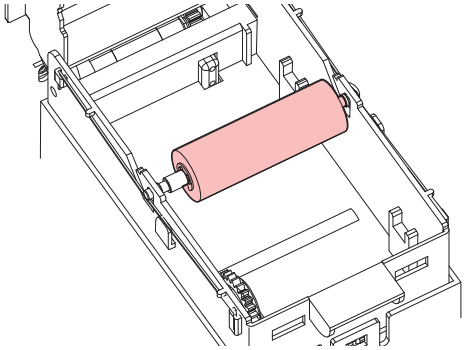
8 ワイパーユニット底面を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



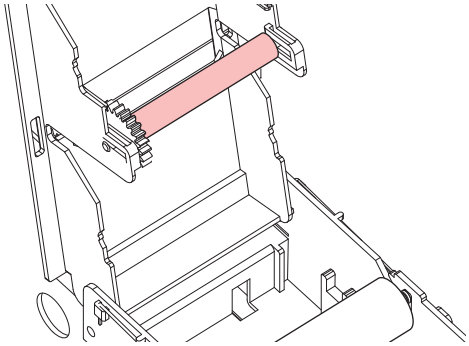
9 拭き取りローラーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



10 ピンチローラーを清掃する。

- 柔らかい布などで、付着したホコリなどを軽く拭き取ります。



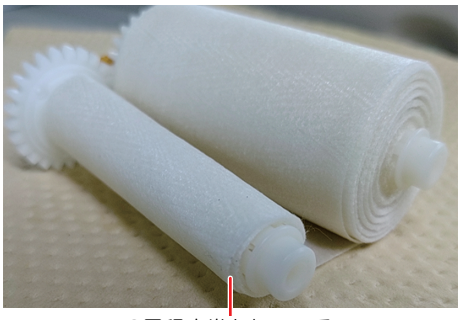
- 強くこすらないでください。スポンジが劣化するおそれがあります。

11 布ワイパーをセットする。

(1) 袋から布ワイパーを取り出す。

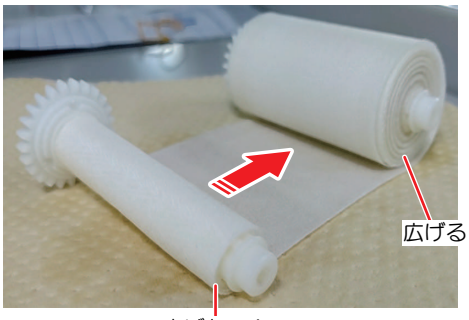
(2) 巻かれている布の多い方を広げる。

［袋から出した状態］



3周程度巻かれている

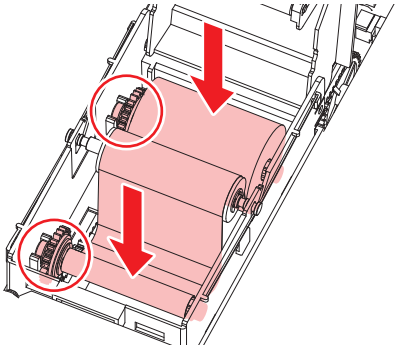
［ワイパーユニットにセットする状態］



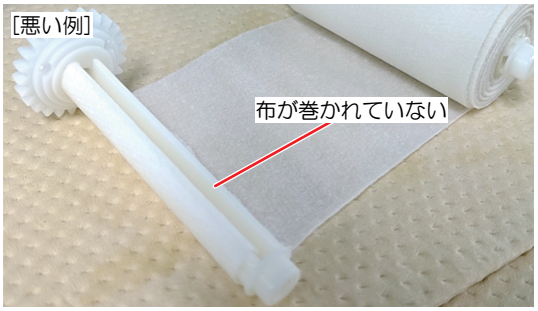
広げない！

(3) 布ワイパーをセットする。

- 布ワイパーのギア部を左に向けてセットします。



重要！
- 軸に布が巻かれていない場合は、3周程度布を巻いてからセットしてください。軸に布が巻かれていない状態のままセットすると、ワイパーユニットから布が飛び出る原因になります。



12 布ワイパーのふたとメンテナンスカバーを閉じる。

13 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。
- ワイパーの残量が初期化されます。

ミストフィルターの交換

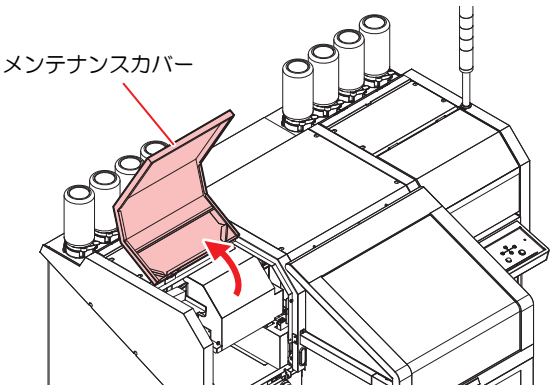
1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ENTER]キーを押す。
- “ステーションメンテ”が選択されます。

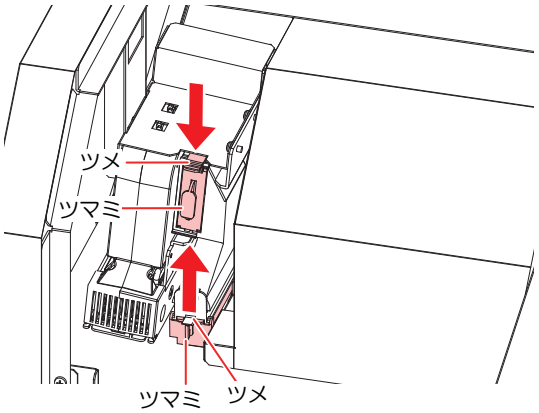
4 [ENTER]キーを押す。
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。



6 ミストフィルターを取り出す。

- ミストフィルターは2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7 新しいフィルター(SPC-0819)に交換する。

8 ミストフィルターを差し込む。

9 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

廃インクタンクのメンテナンス

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。廃インクタンク交換の目安にしてください。

2.0L廃インクタンク(SPA-0173)の80%(1.6L)でメッセージが表示されます。

廃インク確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示される。

2 ☞「廃インクの廃棄手順」（P. 24）の手順に従い、廃インクタンクを空にする。

- 実際の量と誤差がある場合、▲▼を押して補正します。

重要! 廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2.0Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も前項と同じ操作です。

1 ☞「廃インクの廃棄手順」（P. 24）の手順を実行し、廃インクタンクを空にする。

廃インクの廃棄手順

以下の手順で廃インクを廃棄してください。

1 **ローカルモードで[FUNC1]キー(MENU) を押す。**

2 **▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- “ステーションメンテ”が選択されます。

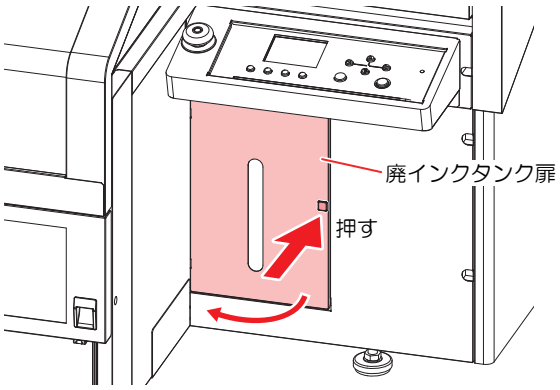
4 **▲▼を押して“廃インクタンク”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- “廃インクタンク”が選択されます。

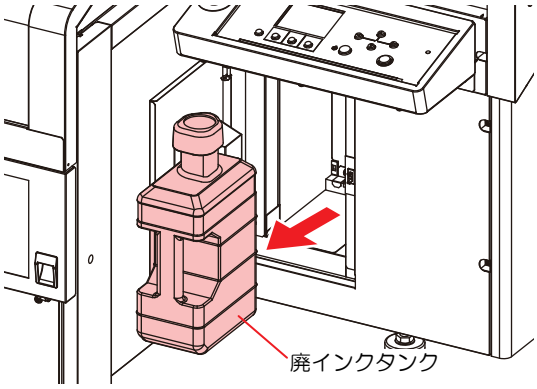
5 **廃インクタンクを取り外す。**

(1) 廃インクタンクボックスの突起を押す。

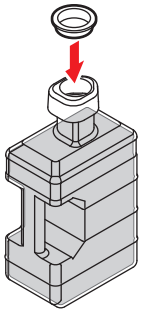
- 磁石が外れ、扉が開きます。



(2) 廃インクタンクを持ち、手前に引いて取り出す。



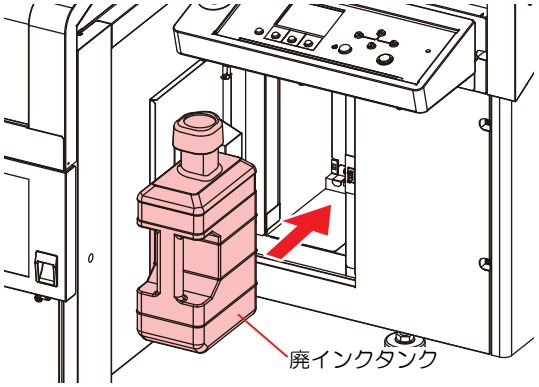
取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



6 **廃インクタンクを空にする。**

- 廃インクを別のポリエチレンタンクに移すか、新しい廃インクタンク（SPA-0173）を用意してください。

7 **廃インクタンクの取っ手を持ち、廃インクタンクボックスの中にセットする。**



廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

8 **[ENTER]キーを押す。**

- 本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。

- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

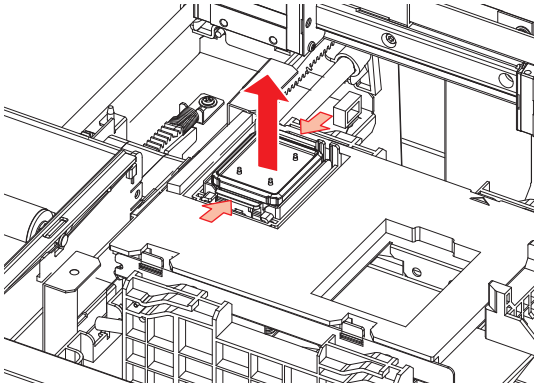
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがテーブル上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

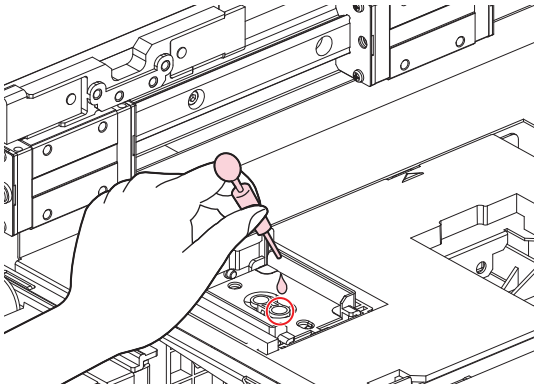
4 キャップを外す。

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



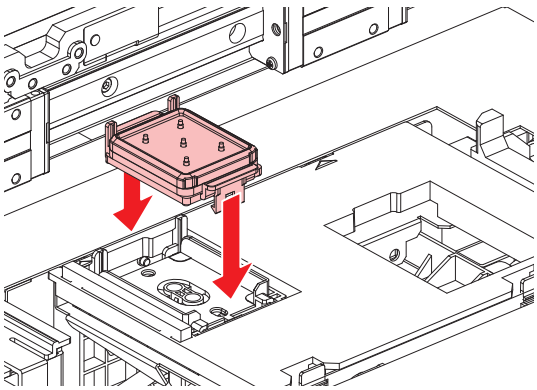
5 メンテナンス液を塗布する。

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



脱臭機フィルターの交換

- 脱臭機は、UJF200-3042 / 6042のオプションです。（OPT-J0515）

オプションの脱臭機を使用している場合に脱臭機フィルターの交換が必要です。
脱臭機フィルターは消耗品です。以下のフィルターを交換してください。交換の目安は2ヶ月です。

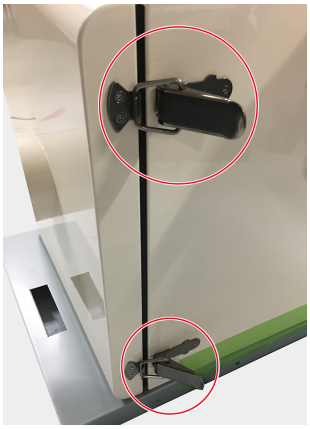
- 脱臭機フィルタA (SPC-0896): プレフィルター、準HEPAフィルター
- 脱臭機フィルタB (SPC-0897): 活性炭フィルター



1	プレフィルター	-
2	準HEPAフィルター	-
3	活性炭フィルター	活性炭を交換するためにプラスドライバーを使用します

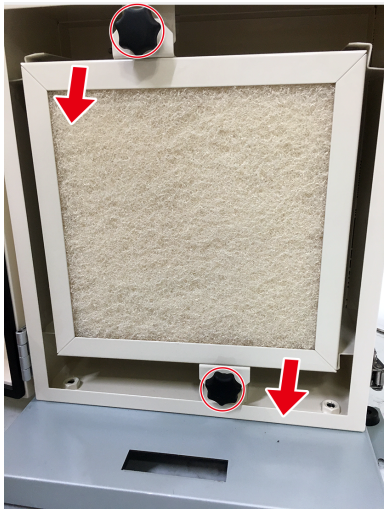
- 作業時は、耐切創手袋を着用してください。指や手に怪我をするおそれがあります。

1 パチン錠を外して脱臭機の扉を開ける。

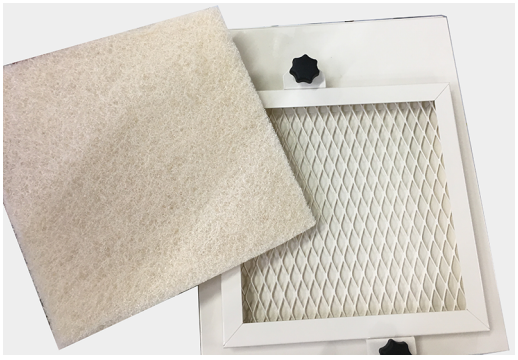


2 プレフィルターを取り外す。

- プレフィルターの上下のノブ(x2)を回して外し、プレフィルターを手前に引き出して取り外します。

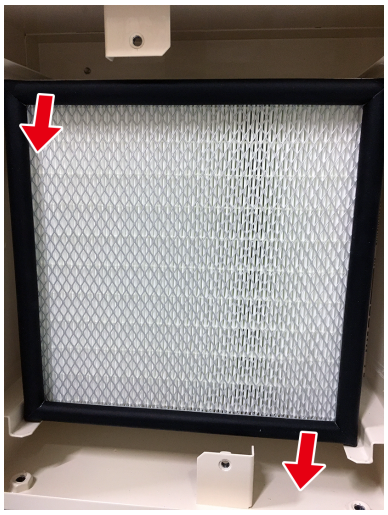


3 プレフィルターのフィルター(ろ材)を交換する。



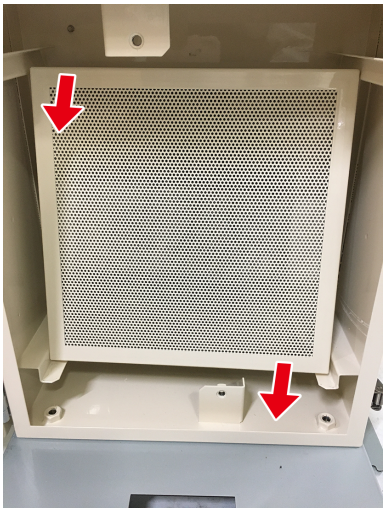
4 準HEPAフィルターを取り出す。

- 準HEPAフィルターを手前に引き出して取り外します。
- 準HEPAフィルターは準HEPAフィルター一式を新しいものに交換してください。



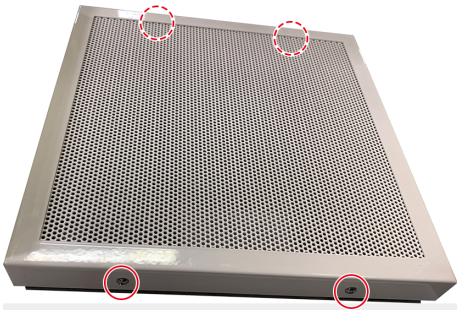
5 活性炭フィルターを取り出す。

- 活性炭フィルターを手前に引き出して取り外します。



6 活性炭とシートを交換する。

(1) ネジ(x4)を取り外す。



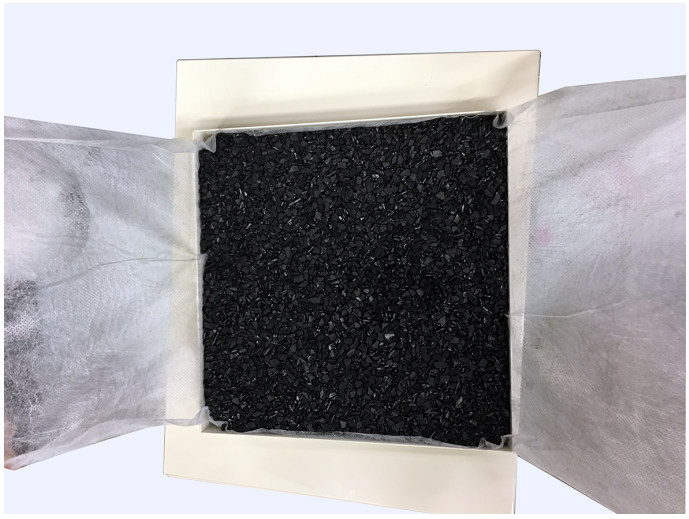
(2) 活性炭とシートを廃棄する。

- 活性炭とシートは地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

(3) 下面カバーに新しいシートを敷く。

(4) シートの上に新しい活性炭を入れ、平らにならす。

- 新しい活性炭は脱臭の効果を保つために真空パックしてあります。使用する直前に封を開けてください。



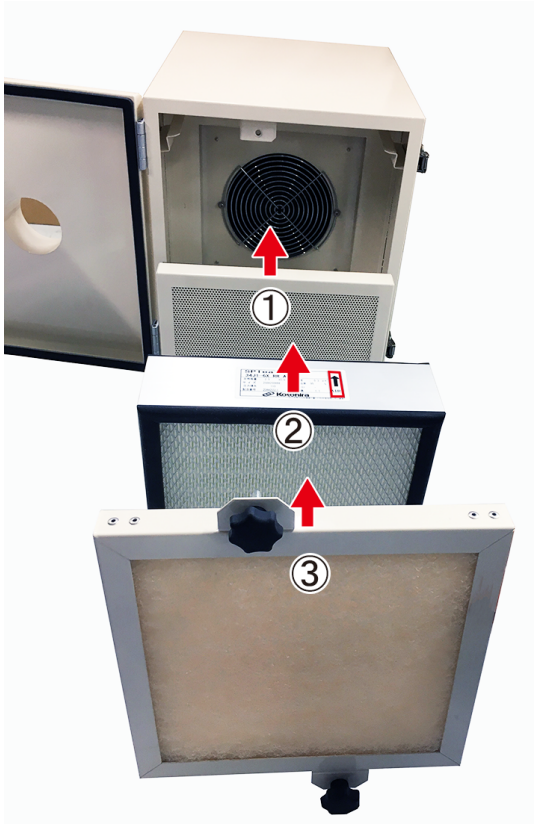
(5) 活性炭をシートで覆う。



(6) 上面カバーをネジ(x4)で取り付ける。

7 **1.活性炭フィルター、2.準HEPAフィルター、3.プレフィルターの順番で、ガイドに合わせて脱臭機に取り付ける。**

- フィルターの順番、向きを間違えないように注意してください。
- 準HEPAフィルターは上面シールの矢印方向が奥側になるようにして取り付けてください。



8 プレフィルターの上下のノブ(x2)を回して固定する。

9 扉を閉める。

10 パチン錠を留める。

UJF200-3042/6042お手入れのお願い

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203974-10-16102026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

KM
FW : 1.0